

さいがい
災害が起きた時の「水」



かのうせい
水道から、「水」が出ない可能性があります。

生活の中で、「水」は
とても大切なものなんだよ



じしん どしゃくず ていでん
災害（地震や大雨等）が起きると、土砂崩れや停電
が起きることがあります。土砂崩れによって、地下
に埋まっている水道管が壊れたり、停電によって、
水を山の上のタンクに送るポンプが止まってしまう
と、断水が起きることがあります。

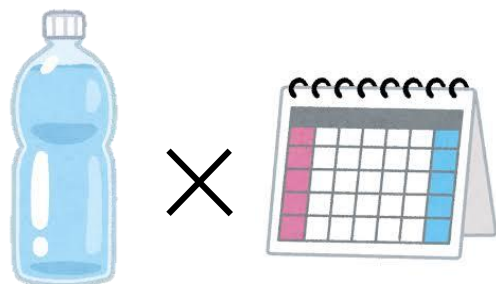
断水が起きると、飲む水がないだけでなく、トイレ
やお風呂も使うことができません…。

↑水が使えないと、こんなことができません。

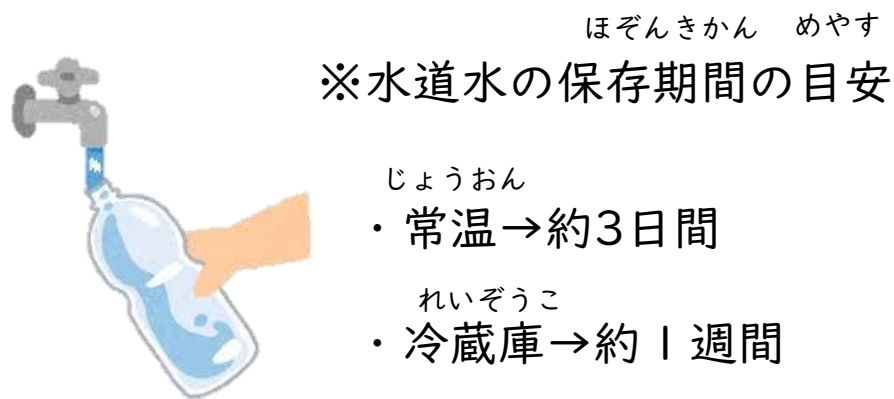
そな
飲み水を備えましょう

9ℓは、最低限の量だよ




$$3\ell \times 3\text{日分} = 9\ell$$

1人あたり



人間が1日に使う水の量は、^{りょう}約^{やく}3ℓとされています。

また、^{ひじょうじ}非常時には、^{さいてい}最低3日分の水を備えることが^{のぞ}望ましいとされています。

よって、日ごろから、1人につき

9ℓの水を備えておく必要があります！



さいがい

大きな災害が起きたら..

たす

助け合います!!



困った時は、「助け合う」
ことが大切だね



のとはんとうじしん

これは、令和6年1月1日に起きた、能登半島地震
の時の様子です。

この地震の影響で、能登半島の多くの地域では
だんすい
断水（水が出なくなること）が起きました。

このように、日本のどこかで大きな災害によって、
断水が起こると、日本中の自治体や自衛隊などが
じちたい じえいたい
助けにいく仕組みがあります。

長崎市上下水道局からも、水が出ない地域の方々
に水を届けるために、しょくいん 職員が能登半島へ向かいま
した。「遠い九州から、本当にありがとう。」と
声をかけていただいた時は、嬉しかったそうです。